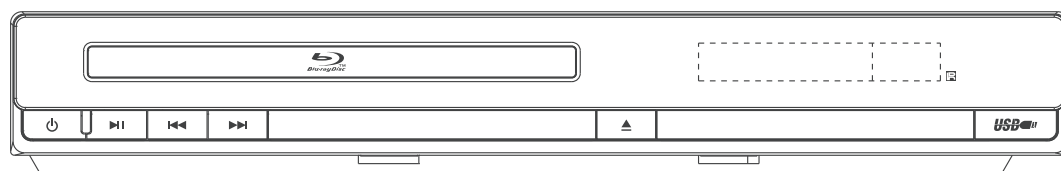


# 取扱説明書

ブルーレイディスクプレーヤー

品番 **BDU-26**



このたびはブルーレイディスクプレーヤーをお買い上げ  
いただきまして、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。  
お読みになったあとは大切に保管してください。

# もくじ

---

安全上のご注意 .....	1
安全上のご注意とお願い .....	3
使用上のご注意 .....	4
再生できるディスク .....	5
付属品と前面パネル .....	6
背面パネル .....	7
基本接続 .....	8
リモコン .....	10
基本再生 .....	11
高度な再生 .....	12
特殊再生機能 .....	14
システム設定 .....	17
故障かな?と思ったときは .....	21
主な仕様 .....	22
ソフトウェアのライセンス情報 .....	23
ソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文 (英文) .....	24

# 安全上のご注意



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に警告するものです。



この表示は、操作・保守（修理）に関する重要な指示が製品の付属文書に記載されていることをお客様に警告するものです。



この表示は、クラス II（二重絶縁）であることを示します。

**警告：** 火災・感電の原因となりますので、本機を雨やその他の液体にさらさないでください。製品本体の内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。内部の点検、修理は、お買い上げ店にご相談ください。

**注意：** 本機のプラグや電源コードを取り換える場合は、必ず同じものかメーカーが推奨するものと交換してください。

本機は、レーザーシステムを使用しています。

指定以外の制御方法、調整方法または手順を実行すると、危険な放射線を浴びるおそれがあります。レーザー光を直接浴びることを防ぐため、製品本体を分解しないでください。

レーザー光を見つめないでください。

## 安全上のご注意

本機は、米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用は、Macrovision の認可が必要であり、Macrovision の認可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビーおよびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。



米国特許番号 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 およびその他米国および他の国において取得済みまたは出願中の特許に基づき製造されています。DTS およびそのシンボルマークは、DTS, Inc. の登録商標です。DTS-HD、DTS-HD Advanced Digital Out、および DTS のロゴは、DTS, Inc. の商標です。「製品」にはソフトウェアも含まれます。  
©DTS, Inc. 無断複写・複製・転載を禁じます。

# 安全上のご注意とお願い

**ご注意：この取扱説明書および製品に記載されているすべての警告および指示をお読みにになり、お読みにになったあとは、この取扱説明書を大切に保管してください。**

本機は、個人の安全を保障するように設計と製造が行われています。不適切な使いかたをすると、感電や火災につながるおそれがあります。本機の安全装置が正常に動作するよう、設置、使用および修理においては次の手順をお守りください。本機は、トランジスタを利用しており、お客様が交換可能な部品は含まれていません。

**外装ケースは絶対に取り外さないでください。感電するおそれがあります。本機の修理は、お買い上げ店にご相談ください。**

## 1. 取扱説明書

この製品を開梱したら、取扱説明書をよくお読みください。操作手順およびその他の指示に従ってください。

## 2. 通気

外装ケースのスロットや開口部は、製品を正常に動作させる通気のためのもので、製品の過熱を防ぎます。開口部をふさいだり覆ったりしないでください。本機をベッドやソファ、じゅうたんの上などに配置して開口部をふさがないようにしてください。

## 3. 高熱

本機は、ラジエーターやストーブ、アンプといった高熱を発生する製品などの熱源のそばに置かないでください。

## 4. 水および液体

本機は、バスタブや洗面器、台所の流し台、洗濯機のそば、湿気の多い地下室、プールのそばなど、水がかかるおそれのある場所で使用しないでください。本機を液体に浸したり、本機に液体をかけたりしないでください。花瓶など液体を満した物を本機の上に置かないでください。

## 5. 掃除

掃除をする場合は、本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。液体洗剤やスプレー洗剤は使用しないでください。乾いた布を使って掃除してください。

## 6. 電源コード保護

電源コードは、上を歩いたり、無理に曲げたりしないようにしてください。コンセント差し込み部分や本機との接続部分は特に注意してください。

## 7. 雷

雷が鳴りだしたらプラグに触れないでください。感電の原因になります。

## 8. 内部に異物や水分を入れない

本機には、金属類や燃えやすいものを内部に入れないでください。そのような異物が電圧の高い危険な部分に触れたり、部品をショートさせたりして、火災や感電につながるおそれがあります。本機に液体をこぼさないでください。

## 9. 付属品

この製品のメーカーが推奨しない付属品を使用しないでください。事故につながるおそれがあります。

## 10. 取り付け部品

不安定な台車、設置台、三脚、張り出し棚およびテーブルの上にこの製品を置かないでください。この製品が落下して、大きなけがやこの製品の深刻な故障の原因となることがあります。台車や設置台、三脚、張り出し棚、テーブルは、メーカーが推奨するもの、または製品とセットで販売されているものだけを使用してください。製品を物に乗せる場合は、メーカーの指示に従い、メーカーが推奨する取り付け部品を使用してください。製品を台車に乗せる場合は、

慎重に運んでください。急に止まったり、力を入れすぎたり、平らではない場所で動かしたりすると、台車に乗せた製品が横転するおそれがあります。



## 11. ディスクトレイ

ディスクトレイが閉まるときは、指を近づけないでください。けがや本機の故障の原因となることがあります。

## 12. 負荷

本機の上に重い物を置いたり、本機を踏みつけたりしないでください。上に置いた物が落ち、けがや故障の原因となることがあります。

## 13. 修理が必要な故障

次の状況の場合は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店にご相談ください。

- 電源コードや電源プラグが故障した場合。
- 本機に液体がこぼれた場合、または本機に物が落ちた場合。
- 本機に雨や水がかかった場合。
- 操作手順に従ったが本機が正常に動作しない場合。操作手順の対象となっている制御部分のみを調整してください。対象外の制御部分を不適切に調整すると、故障の原因となることがあります。
- 本機を落とした場合、または本機が破損した場合。
- 本機の性能が明らかに低下した場合。修理が必要であることを示します。

## 14. 修理

お客様ご自身で本機を修理しようとししないでください。分解すると、感電などの事故につながる可能性があります。本機の修理は、お買い上げ店にご相談ください。

## 15. 交換部品

交換部品が必要な場合は、必ず修理担当者がメーカー指定の交換部品または同じ特徴を備えた部品を使用します。認可のない部品を使用すると、火災や感電などの事故につながるおそれがあります。

## 16. 安全点検

本機の修理や交換が完了したら、修理担当者に安全点検を実行し、本機が正常な動作を行うかの確認を依頼してください。

## 17. その他

本機は、電源プラグを抜いた場合だけ、電源が遮断されます。そのため、電源プラグはソケットから容易に抜ける状態にしてください。

**18. 主電源プラグまたは電源接続器が切断装置として使用されている場合、その切断装置を容易に操作できる状態にしてください。**

# 使用上のご注意

## 取り扱いに関するご注意

- 長時間使用すると、本機の上部パネルおよび背面パネルが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 本機を使用しないときは、必ずディスクを取り出し、電源を切るようにしてください。
- 本機を長期間使用しないと、正常に機能しないことがありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。
- トレイに異物を入れないでください。

## 置き場所に関するご注意

次のような場所に本機を置かないでください。

- 暖房機器のそばや密閉した車内
- 高温（40℃以上）・多湿（90%以上）の場所
- ほこりやよごれの多い場所
- 直射日光が当たるところ

## 電氣的ノイズに関するご注意

本機をテレビやラジオ、ビデオデッキのそばに置くと、再生画像が乱れたり、音質が低下したりすることがあります。このような症状が発生した場合は、本機をテレビやラジオ、ビデオデッキから離してください。

## 結露（露付き）に関するご注意

次の状況の場合は、ピックアップレンズに結露が発生することがあります。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき。
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接当たるところに本機を置いたとき。
- 夏季に、冷房のきいた部屋から急に温度・湿度の高いところに本機を移動したとき。
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に本機を置いたとき。

結露がおきた状態では、本機は正常に動作しません。ディスクを取り出し、本機の電源コードをコンセントに接続して電源を入れ、2～3時間放置してください。本機があたたまり水滴が蒸発します。本機をコンセントに接続しておくと、結露が発生することはほとんどありません。



## ディスクの取り扱いに関するご注意

- ディスクの再生面には手を触れないでください。
- ディスクに紙やシールをはらないでください



## ディスクのお手入れに関するご注意

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。



- 柔らかい布でよごれが拭き取れない場合は、水を含ませた柔らかい布で軽く拭き取った後、乾いた布で拭いてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

## ディスクの保管に関するご注意

- 直接日光の当たる場所や熱源の近くでディスクを保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所でディスクを保管しないでください。
- ディスクは専用ケースに入れて縦にして保管してください。専用ケースに入れずに積み重ねたり、ディスクの上に物を置いたりすると変形する原因となります。








# 再生できるディスク

## 特長

- 最大 1080p の解像度のフル HD 再生に対応しており、驚きの視聴体験を実現します。
- DVD の再生では、アップコンバート機能によって、標準解像度の映像を最大 1080p までアップスケール処理し、HDMI ケーブルでテレビと接続することで、きれいな画質を再生できます。
- 優れた音声を楽しめるマルチチャンネルサラウンド音声出力に対応しています。
- 単一の HDMI ケーブルを使用した簡単でシンプルな HDTV 接続ができます（ケーブルは別売りです）。
- さまざまな出力端子により、ホームシアターシステムやアンプに接続できます。
- PIP 機能に対応したブルーレイディスクでは、主映像と副映像を同時に表示できます。
- ポップアップメニューが含まれたブルーレイディスクでは、再生中にポップアップメニューが表示されます。
- ブルーレイディスクでは、HDMI 1080p/fps 出力により、60fps のフレームレートで高品質な映像再生を実現します（ただし、テレビが HDMI ケーブルと 1080p/60 フレームに対応しており、本機とテレビが HDMI ケーブルで接続されている必要があります）。

**REF プレーヤーでは、次の種類のディスクが再生できます：**

ディスクの種類	ロゴ
ブルーレイディスク	
DVD ビデオディスク (DVD-ROM)	
CD	
CD-R	
CD-RW	
DVD-RW	

ディスクの種類	ロゴ
DVD+RW	
DVD-R	
DVD+R	
JPEG	
MPEG4	
WMA	
MP3	

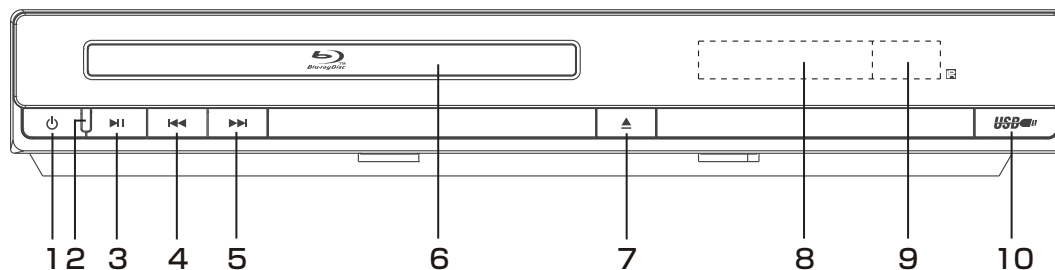
## ご注意：

書き込み可能な DVD ディスク（DVD+/-RW、DVD+/-R）は、VR モードだけ対応しており、ファイナライズを行う必要があります。

- 本機は、Standard Version 2.0 に準拠したディスクに対応しています。
- ディスクの種類によっては、正常に再生できないことがあります。また、アングル変更や画面比調整などの特定の操作を実行した場合にも、正常に再生できないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ディスクによごれや傷がつかないように気をつけてください。記録面に指紋やよごれ、ほこり、傷がついたり、たばこの煙が沈着したりするとディスクが再生できなくなることがあります。
- UDF または ISO9660 フォーマットで記録された DVD+/-R、DVD+/-RW が再生できます。
- Windows Media Audio (WMA) ファイルは、「.wma」のファイル拡張子をつけてディスクに書き込む必要があります。この拡張子がないと、正常なファイル認識や再生ができないことがあります。
- 高ビットレートまたは可変ビットレートの .wma ファイルは、正常に再生できないことがあります。
- JPEG 画像ファイルは、「.jpeg」または「.jpg」のファイル拡張子をつけてディスクに書き込む必要があります。この拡張子がないと、正常なファイル認識や再生ができないことがあります。

# 付属品と前面パネル

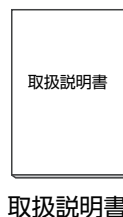
## 前面パネル



- |                 |                                         |
|-----------------|-----------------------------------------|
| 1. 電源ボタン        | 電源を「入」「切」、または本機をスタンバイ状態にします。            |
| 2. 電源ランプ        | 電源を入れると青色に点燈します。                        |
| 3. 再生 / 一時停止ボタン | 再生：ディスクを再生します。<br>一時停止：ディスクの再生を一時停止します。 |
| 4. スキップ（後）ボタン   | 再生中、一回押すとチャプター / トラックの先頭に戻ります。          |
| 5. スキップ（前）ボタン   | 再生中に押すたびに、1 つ先のチャプター / トラックの先頭から再生します。  |
| 6. トレイ          | 開いてディスクを入れます。                           |
| 7. トレイ開 / 閉ボタン  | ディスクトレイの開 / 閉をします。                      |
| 8. 表示窓          | 再生状態や時間などを表示します。                        |
| 9. リモコン受光部      | リモコンの信号を受信します。                          |
| 10. USB 端子      | ファイルの再生や BD-Live のストレージに使用します。          |

## 付属品

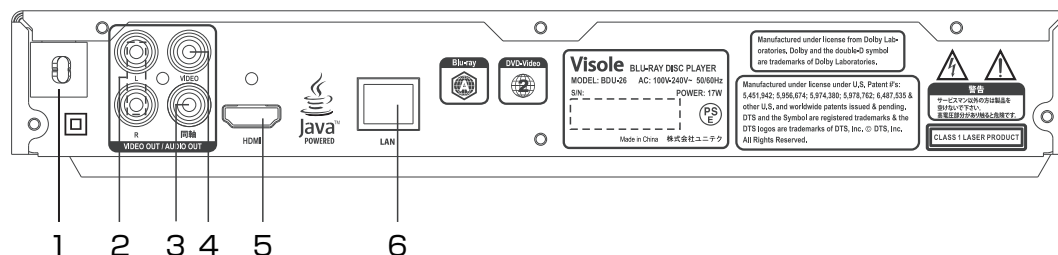
- HDMI ケーブル ..... 1
- リモコン ..... 1
- 取扱説明書 ..... 1
- 電池 ..... 2
- 簡単接続ガイド ..... 1





# 背面パネル

## 背面パネル出力端子



1. 電源コード
2. L/R AUDIO 出力端子
3. デジタル AUDIO 同軸出力端子
4. VIDEO 出力端子
5. HDMI 出力端子
6. LAN 端子

電源プラグをコンセントに差し込みます。

テレビやオーディオ機器の音声入力端子（赤 / 白）と接続します。

デジタル音声同軸入力を備えたサラウンドレシーバーなどのデジタル音声同軸入力端子と接続します。

テレビにコンポーネント映像入力端子や HDMI 映像入力端子がない場合は、この出力端子をテレビの映像入力端子（黄）と接続します。

使用するサラウンドレシーバーに HDMI 入力端子がない場合、あるいはサラウンドレシーバーを使用しない場合は、この出力端子をテレビの HDMI 入力端子と直接接続します。残りの音声出力端子の 1 つをオーディオレシーバーに接続できます。

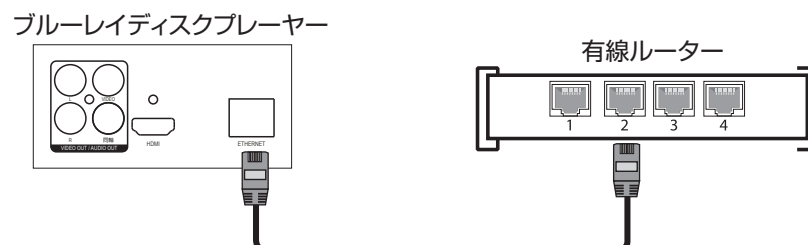
本機の HDMI 出力端子をオーディオレシーバーの HDMI 入力端子と接続することもできます。（別の HDMI ケーブルを使用してオーディオレシーバーの HDMI 出力端子とテレビの HDMI 入力端子を接続する必要があります。）

BD-Live に使用します。

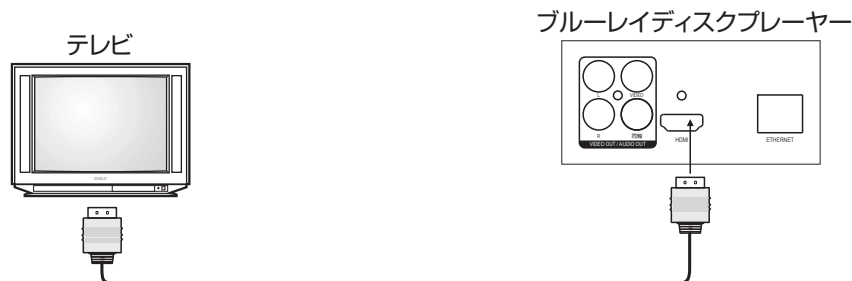
# 基本接続

## 基本接続

- イーサネットケーブルで有線ルーターと接続します

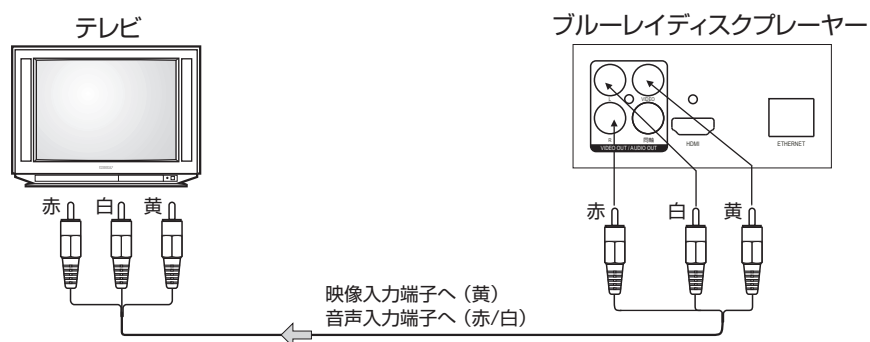


- HDMI 端子を備えた機器と接続します



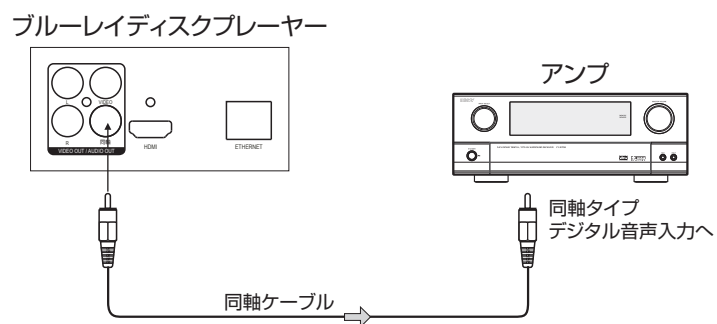
HDMI (ハイディフィニション・マルチメディア・インターフェース) の設定：  
この接続は、HDMI を使用する場合だけ設定します。HDMI は、1080i/1080p 映像を再生可能な唯一の REF 出力であり、最も解像度の高い音声コーデックです。本機の HDMI 出力端子をオーディオレシーバーの HDMI 入力端子と接続します。  
(別の HDMI ケーブルを使用してオーディオレシーバーの HDMI 出力端子とテレビの HDMI 入力端子を接続する必要があります。)

- 音声 / 映像ケーブルでテレビと接続します



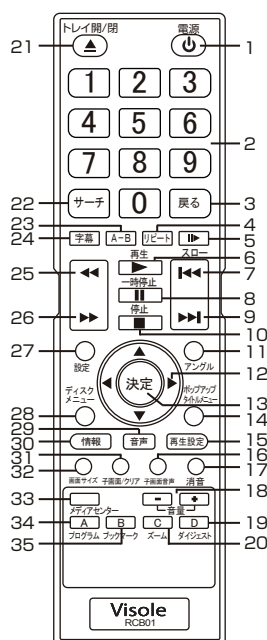
## 基本接続

- デジタル音声入力端子を備えたアンプ機器やテレビと接続します



# リモコン

## リモコン



### 機能

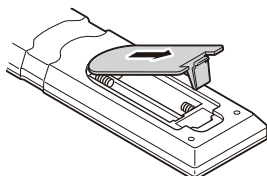
1. 電源ボタン
2. 数字ボタン
3. 戻るボタン
4. リピートボタン
5. スローボタン
6. 再生ボタン
7. スキップ (後) ボタン
8. 一時停止ボタン
9. スキップ (前) ボタン
10. 停止ボタン
11. アンクルボタン
12. カーソルボタン
13. 決定ボタン
14. ポップアップタイトルメニューボタン
15. 再生設定ボタン
16. 子画面音声ボタン
17. 消音ボタン
18. 音量 +/- ボタン

### 機能

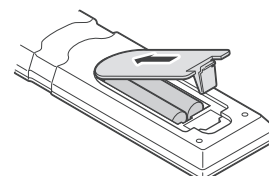
19. ダイジェストボタン (青)
20. ズームボタン (黄)
21. トレイ開 / 閉ボタン
22. サーチボタン
23. A-B ボタン
24. 字幕ボタン
25. 早戻しボタン
26. 早送りボタン
27. 設定ボタン
28. ディスクメニューボタン
29. 音声ボタン
30. 情報ボタン
31. 子画面 / クリアボタン
32. 画面サイズボタン
33. メディアセンターボタン
34. プログラムボタン (赤)
35. ブックマークボタン (緑)

## 電池の入れかた

1. ふたをはずします。

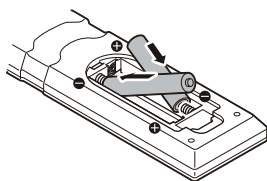


3. ふたを閉めます。



2. 電池を入れます。

電池の [ + ] と [ - ] が、  
リモコン内部のマークと一致  
しているか確かめてください。



### 電池に関するご注意

- リモコンに電池を入れる際、極性を間違えて挿入しないでください。
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてたりしないでください。
- 種類の違う電池や新しい電池と使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンが正常に機能しない場合や作動範囲が狭くなってきた場合は、新しい電池に取り換えてください。

# 基本再生

## 再生

1. 前面パネルまたはリモコンの [電源] を押すと、本機の電源が入ります。
2. テレビの電源を入れ、本機との接続に使用する接続方法に合った入力設定を選択します。
3. 表示画面を「日本語」にします。  
(17 ページ 1.2 言語を参照してください。)



4. [トレイ開/閉] ▲を押して、ディスクトレイを開きます。
5. ラベル面を上にしてディスクをディスクトレイに置き [トレイ開/閉] ▲を押して、ディスクトレイを閉じます。ディスクの読み込みに数秒かかることがあります。
6. ディスクが自動的に再生しない場合は、[再生] を押します。
7. ブルーレイディスクや DVD のメニュー画面が開いた場合は、[カーソル] を押して選択し、[決定] を押します。
8. ディスクを取り出すには、[トレイ開/閉] ▲を押します。

**ご注意：**本機は 9 分間以上操作がない場合、自動的に電源が切れます。

## 停止

1. [停止] ■を押すと、停止モードに移行し、テレビ画面にスタートロゴが表示されます。本機は、ブルーレイディスクなど一部のディスクについて停止位置を記憶できます。
2. [再生] を押すと、停止位置を記憶している場合はその位置からレジューム再生が行われ、そうでない場合はディスクの初めから再生が行われます。
3. [停止] を 2 回押すと、停止位置を記憶しないで完全に停止します。

**ご注意：**すべてのブルーレイディスクがレジューム機能に対応しているわけではありません。ラストメモリー設定が「ON」の場合レジューム情報は、電源を切っても保存されます。

## 一時停止

1. [一時停止] || を押すと、再生が一時停止されます。音声は消音になります。
2. [一時停止] || か [再生] を押すと、通常の再生に戻ります。

## 早送りと早戻し

1. [早送り] ►► を押すと、ディスクの早送り再生が行われます。[早送り] ►► を押すたびに、早送り再生速度が変わります。再生速度は、►►1 倍、►►2 倍、►►3 倍、►►4 倍、►►5 倍の順で増加します。
2. [再生] を押すと、通常の再生に戻ります。
3. [早戻し] ◄◄ を押すと、ディスクの早戻し再生が行われます。[早戻し] ◄◄ を押すたびに、早戻し再生速度が変わります。再生速度は、◄◄1 倍、◄◄2 倍、◄◄3 倍、◄◄4 倍、◄◄5 倍の順で増加します。
4. [再生] を押すと、通常の再生に戻ります。

## 前後へのスキップ

通常再生中に [スキップ] ◄◄ を 1 回押すと、チャプター/トラックの先頭に戻ります。[スキップ] ◄◄ を 2 回続けて押すと、1 つ前のチャプター/トラックの先頭まで戻ります。  
再生中に [スキップ] ►► を押すたびに、1 つ先のチャプター/トラックの先頭から再生します。

## コマ送り / スロー再生

1. 再生中に [一時停止] を押し、続けて [スロー] ►► を押すと、映像のフレーム単位でコマ送り再生が行われます。
2. [再生] を押すと、通常の再生に戻ります。
3. 再生中に [スロー] ►► を押すと、ディスクのスロー再生が行われます。[スロー] ►► を繰り返して押すと、スロー再生速度が 1/16、1/8、1/4、1/2 の順で切り替わります。
4. [再生] を押すと、通常の再生に戻ります。

**ご注意：**

1. 操作中に「O」マークがテレビ画面に表示されることがあります。「O」マークは、本機またはディスクによってその操作が禁止されていることを示します。

# 高度な再生

## 重要なお注意：

以下に記載する機能は、ブルーレイディスクだけに当てはまります。他のディスク形式を再生する場合、画面表示や操作手順は変わります。

### 画面表示

[情報] を押すと、画面にディスクの情報が表示されます。表示される情報は「ディスクの種類」、「タイトル」、「チャプター」、「時間」、「音声」などです。

### リピート再生

[リピート] を繰り返し押すと、リピートモードの種類を選ぶことができます。

リピートモードには次の種類があります。

- 同じチャプターを繰り返し再生
- 同じタイトルを繰り返し再生
- ディスク全体を繰り返し再生
- リピート Off

[リピート] を繰り返し押すと、上記のモードが順に表示されます。

#### ご注意：

1. このボタンは、BD-J (Blu-ray Disc Java) には無効です。
2. 一部のブルーレイディスクは「ディスク全体を繰り返し再生」モードに対応していません。

### A-B リピート再生

繰り返す部分の始点で [A-B] を押し、繰り返す部分の終点でもう一度 [A-B] を押します。指定した A-B 間がリピート再生されます。もう一度 [A-B] を押すと、この機能はキャンセルされます。

**ご注意：**このボタンは、BD-J (Blu-ray Disc Java) には無効です。

### サーチ

[サーチ] を押して [決定] を押します。[カーソル] でサーチモードを選択し、[数字] を押します。リモコンの [決定] を押すと選択が確定し、指定したところから再生が始まります。[サーチ] を押すと、サーチモードがキャンセルされます。表示を消すには、再度 [情報] を押します。

**ご注意：**一部のディスクでは、サーチモードで「TITLE」を選択することができません。

### 字幕

[字幕] を繰り返し押すと、画面に「X/X XXX」や「Off」が表示されます。最初の「X」は、現在選ばれている字幕言語の番号を示し、2 番目の「X」は、記録されている字幕言語の総数を示しています。「XXX」は、字幕言語を示しています。(字幕言語の数はディスクによって異なります。)

### ディスクメニュー

DVD/ブルーレイディスクの再生中に、[ディスクメニュー] を押すと、ディスクメニューが表示されます。再生する項目を選び、[決定] を押します。メニューを閉じるには、[戻る] を押します。

### 音声チャンネルの選択

リモコンの [音声] を押すと、音声モードを切り替えることができます。音声モードは、「1/2 English Dolby Digital ステレオ」といった形式で表示されます。

「1」は、現在選択されている音声の番号を示します。「2」は、記録されている音声の総数を示します。「English」は、音声言語を示します。「Dolby Digital」は、現在選択されている音声の説明を示します。「ステレオ」は、現在選択されている音声を示します。

### アングル

再生中に [アングル] を押すと、映像のカメラアングルを切り替えることができます。画面に「Angle: X/X」が表示されます。最初の「X」は現在選択されているアングルの番号を示し、2 番目の「X」は、記録されているアングルの総数を示しています。

**ご注意：**マルチアングル機能に対応していないディスクの場合、アングル機能は利用できません。

### ポップアップメニュー/タイトルメニュー

DVD/ブルーレイディスクの再生中に [ポップアップタイトルメニュー] を押すと、メニュー画面が表示されます。

ポップアップメニューが開いたら、次の操作を行います。

1. [カーソル] を押して目的のオプションを選び、[決定] を押します。
2. メニューを閉じるには [ポップアップタイトルメニュー] を押します。

### ホーム

[設定] を押すと、画面に本機の情報が表示されます。表示される情報は「基本設定」、「表示設定」、「オーディオ調整」などです。

**ご注意：**[設定] は、ブルーレイディスクの再生が停止している場合にだけ機能します。

### リターン

ディスクメニューやポップアップメニューの表示中に [ポップアップタイトルメニュー] を押すと、メニューの表示が終了します。

## 高度な再生

### カラーボタン (赤、緑、黄、青)

カラーボタンを使うと、JavaTM アプリケーション (BD-J : Blu-ray Disc Java) を含む BD ビデオディスクを操作できます。このタイプのディスクの操作については、ディスクの説明書を参照してください。(このオプションは、BD-Live ディスクで使用できます。)

### プログラム

DVD/CD ディスクの再生中に [プログラム] を押すと、プログラム再生モードに移行します。[決定] を押し、次に [数字] または [カーソル] を押して、目的のプログラム番号を入力します。終了したら、[決定] を押して確定します。[再生] を押すと、プログラム再生が開始します。プログラム番号を消去するには、[子画面 / クリア] を押します。プログラム再生機能を終了するには、[戻る] を押します。

**ご注意：**このボタンは、ブルーレイディスクには無効です。

### ブックマーク

再生中に [ブックマーク] を押すと、現在の位置にブックマークを登録するメッセージが画面に表示されます。ブックマークリストにサムネイルが追加されます。[ブックマーク] を数秒間押し続けると、ブックマークリストが表示されます。◀▶を使って、リストから番号 (01、02 など) を選択します。[再生] を押すと、選択したブックマークの位置から再生が始まります。

**ご注意：**ディスクトレイを開くと、ブックマークは解除されます。この機能は、DVD、ブルーレイ、MPEG4 のディスクで使用できます。(ディスクによっては、この機能を利用できません)

### オンスクリーンコントロール

[再生設定] を押すと、画面にディスクの情報が表示されます。表示される情報は「タイトル」、「チャプター」、「Time」、「オーディオ」、「アングル」、「字幕」などです。[決定] を押し、次に▲▼を押して、変更するオプションを選択します。変更が終わったら、[決定] を押して確定します。もう一度 [再生設定] を押すと、オンスクリーンコントロールメニューが消えます。

### ズーム

[ズーム] を押すと、画像の拡大・縮小ができます。[ズーム] を繰り返し押すと、倍率が 2 倍、3 倍、4 倍、1/2、1/3、1/4 の順で切り替わります。

### ダイジェスト

画像の再生中に [ダイジェスト] を押すと、サムネイル一覧が表示されます。[カーソル] と [決定] を使って、目的の画像から再生を開始できます。

### 解像度

映像出力の解像度を設定します。

PAL : 自動、480i/576i、480p/576p、720p、1080i、1080p

NTSC : 自動、480i/576i、480p/576p、720p、1080i、1080p

自動 : 自動、480i/576i、480p/576p、720p、1080i、1080p

**ご注意：**お使いのテレビが対応していない解像度を設定すると、画像が不安定になったり、画像が映らなくなったりすることがあります。詳細については、お使いのテレビの説明書を参照してください。

### 音量設定とミュート

[音量] の右にある「+」を押すと音量が上がり、左にある「-」を押すと音量が下がります。[消音] を押すと消音になり、ミュートマークが表示されます。もう一度 [消音] を押すと、通常の再生に戻ります。

**注意：**[消音] と [音量] は、HDMI ケーブルを使って本機とテレビを接続している場合には対応しません。

# 特殊再生機能

## ブルーレイディスクの特殊機能

### はじめに

大容量のブルーレイディスクは、従来と比べてはるかに優れた画質と音質を実現し、さまざまな特殊効果や拡張機能を備えています。

### ブルーレイと Java

本機は Java 対応しており、最新のブルーレイディスクを最大限に活用できます。ブルーレイディスクを読み込む場合は、タイトルメニューを調べることで、追加機能を楽しむことができます。

### ブルーレイと HDMI

ブルーレイの大きな魅力は、高解像度の画像と先進的なデジタル音声コーデックです。HDMI は、この魅力を実現するための大容量データを伝送できる唯一のデジタル家電向けインターフェースです。

### ブルーレイディスクの再生

ブルーレイディスクは、標準的な DVD と同じように再生できますが、はるかに高度なインタラクティブ機能を利用できます。DVD 再生の標準機能はブルーレイでも同じように操作できますが、一部に違いがあります。

**レジューム再生：**この機能は、BD-J (Blu-ray Disc Java) では利用できません。

**A-B リピート再生：**この機能は、一部のブルーレイディスクでは無効です。

## 拡張機能

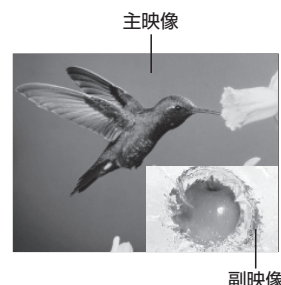
### 副映像 (PIP：ピクチャー・イン・ピクチャー)

再生中に次の操作を行います：

[子画面 / クリア] を押すと、副映像が表示されます。

1. 副映像が再生されます。

[子画面 / クリア] を押すたびに、この機能のオンとオフが切り替わります。



### 副音声

副映像の音声のオンとオフを切り換えるには、次の操作を行います。

[子画面音声] を押します。

副音声再生が開始されます。

[子画面音声] を押すたびに、この機能のオンとオフが切り替わります。

PIP 機能は、ボーナスビュー機能とも呼ばれます。

**ご注意：**サーチモードやコマ送り再生時は、主映像だけが再生されます。

PIP 機能は、ボーナスビュー機能とも呼ばれます。

### カラーボタン

カラーボタン (赤、緑、黄、青) を使うと、Java™ アプリケーション (BD-J：Blu-ray Disc Java) を含む BD ビデオディスクをインタラクティブメニューで操作できます。このタイプのディスクの操作については、ディスクの説明書を参照してください。



## 特殊再生機能

### メディアセンター

#### はじめに

メディアセンターにより、データディスクや USB デバイスのマルチメディアファイルの表示と再生ができます。

1. データディスクを挿入します。
2. 読み込みが完了したら、[メディアセンター] を押します。次の画面のようなメディアセンターメニューが表示されます。



3. ▲▼を使ってデータディスクを強調表示し、[決定] を押して確定します。

**ご注意：**USB デバイスの場合も、上記と同様の操作を行います。

- ファイル名は、最大 255 文字（半角）です。
- ディレクトリの長さは、最大 1152 文字（半角）です。
- ビデオディスクを再生中の場合は、再生を停止してから USB デバイスに切り替えてください。
- MP3/WMA/JPEG ファイルを再生している場合は、[メディアセンター] を押すと、メディアセンターメニューに戻ります。

**ご注意：**MPEG/AVI ファイルを再生している場合は、[停止] を押して [メディアセンター] を押すか、[停止] を 2 回押すと、メディアセンターメニューに戻ります。

#### メニュー編集の使いかた

メニュー編集を使うと、フォルダーやファイルに対して、「プレイリストに追加する」、「全てを選択する」、「全て削除」、「キャンセル」の操作を行うことができます。File Browser でファイルやフォルダーを強調表示し、[ポップアップタイトルメニュー] を押すと、メニュー編集が開きます。

**ご注意：**第 1 階層と第 2 階層では、TITLE を使ってメニュー編集を開くことはできません。

プレイリストに追加する：フォルダー/ファイル をプレイリストに追加します。

全てを選択する：現在のページにあるすべてのフォルダー/ファイルを選択します。現在のフォルダーディレクトリに含まれるすべてのフォルダー/ファイルにチェックマークがつきます。

全て削除：すべてのフォルダー/ファイルの選択を解除します。

キャンセル：操作をキャンセルして、編集メニューを終了します。

**ご注意：**「全てを選択する」では、最大 100 個のファイルを選択できます。100 を超えるファイルがある場合、「全てを選択する」で選択されるファイルは 100 個だけです。また、▶を押すと、1 つまたは複数のファイルにチェックマークをつけることができます。

#### Playlist の使いかた

メニュー編集の Playlist に追加することで、プレイリストのカスタマイズを行うことができます。

1. Browser メニューから Playlist フォルダーを選択します。
2. Playlist には、「Photo」、「Music」、「Video」の 3 つのフォルダーがあります。目的のファイルタイプのフォルダーを選択します。
3. 再生するファイルを選択します。

**ご注意：**Playlist は、電源を切るとクリアされます。各サブフォルダー (Photo、Music、Video) の最大ファイル数は、100 個です。

#### 画像ファイルの表示

対応するファイルタイプ：JPEG

メディアセンターから、目的の JPEG ファイルを自由に選択して表示できます。

1. File Browser で、▲▼を使って、表示する JPEG ファイルを強調表示し、[決定] を押して確定します。

**ご注意：**1 つの JPEG ファイルを強調表示すると、そのサムネイルが画面の右に表示されます。選択を確定する前に、画像をプレビューで確認できます。プレビューエリアには、ファイルタイプ、サイズ、解像度も表示されます。

2. スライドショー形式で画像の表示が始まります。JPEG ファイルの表示では、次のボタンを使用します。

[カーソル]：画像を回転します。4 つのボタンを使って、回転する方向を選択します。

[一時停止]：[一時停止] を押すと、JPEG ファイルの再生が一時停止します。[再生] を押すと、通常の再生に戻ります。

[停止]：[停止] を押すと、画像の再生が完全に停止し、File Browser に戻ります。

[リピート]：1 つの JPEG ファイルまたはすべてのファイルを繰り返して再生します。[リピート] を繰り返し押すと、「Repeat Track」、「Repeat All」、「Repeat Off」の順にリピートモードが切り替わります。

[早戻し] ◀◀ / [早送り] ▶▶：画像の再生速度を変えます。速度は、「早い」(1 秒)、「中間」(2 秒)、「遅い」(3 秒) の 3 段階で切り換えることができます。

[ダイジェスト]：画像の再生中に [ダイジェスト] を押すと、サムネイル一覧が表示されます。

[設定]：Display メニューが開き、画像の再生に関する情報が表示されます。

## 特殊再生機能

### 音楽ファイルの再生

対応するファイルタイプ：wma、mp3

メディアセンターから、目的の音楽ファイルを選択して再生できます。

1. File Browser で、▲▼ を使って、再生する wma ファイルを強調表示し、[決定] または [再生] を押します。
2. 音楽ファイルの再生が始まります。File Browser のプレビューエリアには、音楽ファイルのタイプ、合計時間、タイトル、アーティスト、アルバム、様式が表示されます。

音楽ファイルの再生では、次のボタンを使用します。

[一時停止]：[一時停止] を押すと、ファイルの再生が一時停止します。もう一度 [一時停止] を押すと、通常の再生に戻ります。

[停止]：[停止] を押すと、ファイルの再生が停止します。停止位置が記憶されるため、レジューム再生できます。停止状態でもう一度 [停止] を押すと完全に停止し、File Browser に戻ります。

[リピート]：1 つのトラックまたはすべてのファイルを繰り返し再生します。再生中に [リピート] を繰り返し押すと、「Repeat Track」、「Repeat All」、「Repeat Off」の順にリピートモードが切り替わります。

REPEAT A-B：選択した範囲 (A-B) を繰り返し再生します。

[設定]：Display メニューが開き、ファイルの再生に関する情報が表示されます。もう一度押すと、Display メニューが閉じます。

### 映像ファイルの再生

対応するファイルタイプ：MPEG4、AVI

メディアセンターから、目的の映像ファイルを選択して再生できます。

1. File Browser で、▲▼ を使って、再生する MPEG4 ファイルを強調表示し、[決定] または [再生] を押します。
2. 映像ファイルの再生が始まります。File Browser のプレビューエリアには、映像ファイルのタイプが表示されます。

映像ファイルの再生では、次のボタンを使用します。

[一時停止]：[一時停止] を押すと、MPEG4 ファイルの再生が一時停止します。[一時停止] または [再生] を押すと、通常の再生に戻ります。

[停止]：[停止] を押すと、ファイルの再生が停止します。停止位置が記憶されるため、レジューム再生できます。停止状態でもう一度 [停止] を押すと完全に停止し、File Browser に戻ります。

[リピート]：1 つのトラックまたはすべてのファイルを繰り返し再生します。再生中に [リピート] を繰り返し押すと、「Repeat Track」、「Repeat All」、「Repeat Off」の順にリピートモードが切り替わります。

REPEAT A-B：選択した範囲 (A-B) を繰り返し再生します。

[設定]：Display メニューが開き、映像ファイルの再生に関する情報が表示されます。もう一度押すと、Display メニューが閉じます。

### BD-Live の使いかた

一部のブルーレイディスクには、インターネットに接続して、追加コンテンツを外部メモリにダウンロードできる機能が追加されています。主な追加機能は、次のとおりです。

- 新しい映画予告編のダウンロード
  - 役者や監督のコメントの追加
  - 多人数によるゲームやチャット
- 本機で BD-Live 機能を使う場合、最低 1GB の USB ドライブが必要です。

### アップグレード

本機のアップグレードは、「設定」->「システム」->「アップグレード」

詳細については、「基本設定：システム」(17 ページ) を参照してください。

1. アップグレードファイルパッケージの入ったディスク (または USB デバイス) を挿入 (接続) するか、LAN ケーブルを接続しネットワークを使用可能な状態に設定します。  
ホームメニューから [設定] -> 「システム」-> 「アップグレード」を選択し、アップグレード方法を選択して、アップグレードを開始します。
2. 自動的にアップグレードパッケージが検索されます。しばらくお待ちください。
3. [決定] を押して、アップグレードを開始します。
4. アップグレードプロセスが進行します。しばらくお待ちください。
5. アップグレードが完了したら、[決定] を押して本機を再起動します。

**ご注意:** パッケージが完全でないなど、アップグレードパッケージが検証プロセスを通過しなかった場合、エラーを示すプロンプトが画面に表示されます。ファームウェアのバージョンが古いものではないことを必ず確認してください。

アップグレードファイルはメーカーサイトより入手できます。

# システム設定

リモコンの[設定]を押すと、ホームメニューが表示されます。ホームメニューには、「基本設定」、「表示設定」、「オーディオ調整」、「Fmt buda」の項目があります。

1. ホームメニューで、リモコンの[カーソル]を使うと、カーソルが移動します。[決定]を押すと、カーソルのある項目が選択されます。  
◀を押すと、前のメニューに戻ります。
2. ホームメニューを終了するには、[設定]を押します。

## 1. 基本設定

基本設定には、「システム」、「メニュー」、「プレイバック」、「セキュリティ」、「ネットワーク」の5つの項目があります。

### 1.1 システム



#### 1. スクリーンセーブ

スクリーンセーブの「On」、「Off」を設定します。  
**ご注意：**この設定をオンにすると、3分間以上操作がないときに、スクリーンセーバーに切り替わります。

なお、6分間以上操作がない場合は、スタンバイモードに切り替わります。

#### 2. No Deep Color

No Deep Colorの「On」、「Off」を設定します。

#### 3. 出荷時設定読み出し

すべての設定をリセットし、お買い上げ時の初期設定に戻します。

**ご注意：**この項目を実行すると、ペアレンタルコントロールのパスワードもリセットされます。

#### 4. アップグレード

システムアップグレードの方法を、「ディスク」、「USB メモリー」、「ネットワーク」から選択します。

##### ご注意：

- システムのアップグレードを行うには、アップグレードパッケージの入ったディスクを挿入した後、ホームメニューのこの項目からアップグレードを開始する必要があります。
- システムアップグレードの詳細については、「アップグレード」(16 ページ)を参照してください。
- システムがアップグレードされると、システム情報メニューに表示されるバージョン番号が変わります。

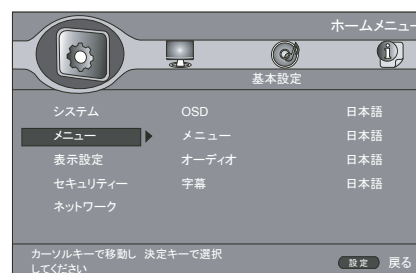
#### 5. 簡単設定

簡単設定を使うと、表示言語や解像度、画面比などの設定を簡単に変更できます。

#### 6. BUDA

BD-Live ストレージの空き容量などの BUDA 情報が表示されます。BD-Live ファイルを削除することもできます。

### 1.2 メニュー



#### 1. OSD

画面表示の「英語」、「日本語」を選択します。

#### 2. Menu

メニューの「英語」、「日本語」を選択します。

#### 3. オーディオ

音声言語を設定します。

#### 4. 字幕

字幕言語を設定します。

# システム設定

## 1.3 プレイバック



### 1. 字幕表示

クローズドキャプションの「On」、「Off」を選択します。

#### ご注意：

クローズドキャプションとは、聴覚障害者向けの字幕で、映像の音声部分を文字で画面に表示するものです。

### 2. アングルマーク

アングルマークの「On」、「Off」を選択します。一部のDVDには、マルチアングルで記録されている場面があり、好きなアングルで映像を再生できます。アングルマークをオンにすると、DVDディスクがマルチアングルに対応している場合に、アングルマークが表示されます。

### 3. PIP マーク

PIP マークの「On」、「Off」を選択します。

PIP：ピクチャー・イン・ピクチャーモードは、テレビ画面に2つの映像を同時に表示するもので、大きな画面全体の映像を主映像、小さい挿入画面の映像を副映像と呼びます。

### 4. 副音声マーク

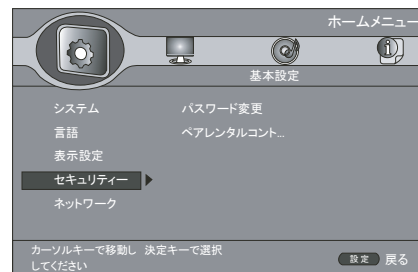
副音声の「On」、「Off」を設定します。

### 5. ラストメモリー

ラストメモリー機能の「On」、「Off」を選択します。ラストメモリー：通常再生中にディスクトレイを開けたり、本機をスタンバイモードに切り替えたりした場合に、再生の止まった場所を記憶する機能です。この機能により、次の再生時に、前回再生を止めた場所から再生を始めることができます。

**ご注意：**4秒を過ぎると、ラストメモリーは消去されます。

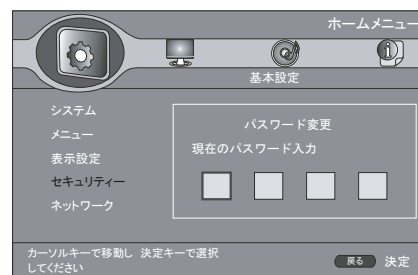
## 1.4 セキュリティ



### 1. パスワード変更

パスワード変更：パスワード変更を選択すると、パスワードを変更できます。新しいパスワードとして4けたの数字を入力します。

**ご注意：**お買い上げ時の設定は、「0000」です。新しいパスワードは忘れないようにしてください。ペアレンタルコントロール機能を設定する場合に、この新パスワードを入力する必要があります。



### 2. ペアレンタルコントロール

お子様に有害なコンテンツなどの視聴制限レベルを設定できます。

視聴制限レベルを、「Off」、「KID SAFE」、「G」、「PG」、「PG-13」、「PGR」、「R」、「NC-17」、「成人のみ」の中から選択します。

Off：制限をかけません。

KID SAFE：子供が視聴しても問題のないコンテンツ

G：全年齢に適しているコンテンツ

PG：子供が視聴する場合、保護者が内容を検討する必要があるコンテンツ

PG-13：13歳未満の子供が視聴する場合、保護者による厳重な注意が必要となるコンテンツ

PGR：子供が視聴する場合、保護者の同伴が推奨されるコンテンツ

R：17歳以下の子供が視聴する場合、保護者の同伴が必要となるコンテンツ

NC-17：17歳以下の子供の視聴が禁止されているコンテンツ

成人のみ：成人向けのコンテンツ

#### 注意：

1. ペアレンタルコントロールを設定した後に、設定したペアレンタルコントロールレベルよりも高い制限レベルのディスクを再生したり、ペアレンタルコントロールレベルを変更しようとしたらすると、4けたのパスワードを入力するように求めるダイアログボックスがポップアップ表示されます。

2. ペアレンタルコントロールレベルが設定されたブルーレイディスクを再生する場合は、ペアレンタルコントロールを「Off」に設定する必要があります。

# システム設定

## 1.5 ネットワーク



### 1. インターネット接続

インターネット用のネットワーク接続の「有効」、「無効」を設定します。

### 2. 情報

インターフェース、アドレスタイプ、IP アドレスなどのネットワーク情報が表示されます。

### 3. 接続テスト

IP アドレスに対してテスト送信を行い、本機の接続設定をテストできます。

### 4. IP セットアップ

IP の設定方法の「自動」、「マニュアル」を選択します。

自動：DHCP を有効にします。

マニュアル：IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどのネットワーク設定を手動で設定します。

#### IP セットアップのマニュアル設定：

項目を 1 つ選択して ▼ を押し、数字をクリアにします。次に、[数字] で入力します。

数字の入力：数字を入力する場合は ◀▶ を押し、数字を切り替え、[決定] を押し、確定します。

### 5. BD-ライブ接続

BD-Live 用のネットワーク接続の「許可」、「一部許可」、「禁止」を設定します。

### 6. プロキシ設定

プロキシ設定の「無効」、「有効」を設定します。プロキシ設定を有効にした場合、「プロキシホスト」と「プロキシポート」を設定します。

## 2. 表示設定

### 2.1 TV



#### 1. 画面サイズ

画面比の設定を、「16:9 Full」、「16:9 通常」、「4:3 パンスキャン」、「4:3 レターボックス」から選択します。

16:9 Full：画面比 4:3 のディスクの場合、出力映像は 16:9 の画面いっぱいに横伸びして再生されます。

16:9 通常：画面比 4:3 のディスクの場合、出力映像は画面表示に合わせて垂直方向にサイズ変更して再生されます。

4:3 パンスキャン：画面比 16:9 の映像の場合、左右の一部がカットされ、画面全体に表示して再生されます。従来の 4:3 テレビに接続する場合に選択します。走査線数は変わりませんが、映像の一部がカットされます。

4:3 レターボックス：画面比 16:9 の映像の場合、4:3 の画面の上下に黒い帯をつけて再生されます。従来の 4:3 テレビに接続する場合に選択します。画面は完全に表示されますが、走査線が失われるため、解像度が減少します。

#### 2. 解像度

映像出力の解像度を、「自動」、「480i/576i」、「480P/576P」、「720P」、「1080i」、「1080P」から選択します。

自動：入力映像に合わせて最適な解像度が選択されます。

**ご注意：**CVBS には、「480i/576i」または「480P/576P」の映像出力しかありません。

#### 3. テレビシステム

テレビシステムの設定を、「NTSC」、「PAL」、「自動」から選択します。

NTSC：NTSC 方式のテレビに接続するときに選択します。

PAL：PAL 方式のテレビに接続するときに選択します。

自動：自動マルチ方式のテレビに接続するときに選択します。

#### 4. カラースペース

カラースペースの設定を、「RGB」、「YCbCr」、「YCbCr422」、「Full RGB」から選択します。

# システム設定

## 5. HDMI Deep Color

HDMI Deep Color の設定を、「30 bits」、「36 bits」、「48 bits」、「Off」から選択します。

**ご注意：**従来のバージョンでは、8ビットの色深度までしか対応していませんでしたが、HDMI 1.3では、10ビット、12ビット、16ビット（RGBまたはYCbCr）の色深度に対応しています。表示色が大幅に増加し、はるかに鮮明な映像が実現します。

## 6. HDMI 1080P 24Hz

HDMI 1080P 24Hzの「On」、「Off」を選択します。

## 3. オーディオ調整

### 3.1 オーディオ出力



#### 1. Spdif

デジタル出力ジャックの出力モードを「ビットストリーム」、「PCM」、「リーンコード」、「Off」から選択します。

ビットストリーム：処理をせずにデジタル信号を出力します。

PCM：処理をしてデジタル信号を出力します。2チャンネルのみが出力されます。

リーンコード：ディスクの音声ストリームに応じて、デジタル出力ジャックの信号タイプを自動で選択します。

Off：ビットストリームの出力を行いません。

#### 2. HDMI

HDMI デジタル出力ジャックの出力モードを「ビットストリーム」、「PCM」、「リーンコード」、「Off」から選択します。

ビットストリーム：処理をせずに HDMI デジタル信号を出力します。

PCM：処理をして HDMI デジタル信号を出力します。2チャンネルのみが出力されます。

リーンコード：ディスクの音声ストリームに応じて、デジタル出力ジャックの信号タイプを自動で選択します。

Off：ビットストリームの出力を行いません。

#### 3. Down\_samp

デジタル音声信号のサンプリング周波数を選択します。

48K：デジタル PCM 出力の最高サンプリングレートを 48kHz にします。元のサンプリングレートが 48kHz を超える場合は、48kHz 以下にダウンサンプリングされます。

お使いのアンプが 48kHz を超えるサンプリングレートに対応していない場合のみ、このオプションを選択します。

96K：デジタル PCM 出力の最高サンプリングレートを 96kHz にします。

192K：デジタル PCM 出力の最高サンプリングレートを 192kHz にします。

## 4. DRC

Dynamic Range Control 機能の設定を選択します。ダイナミックレンジとは、最も大きな音と最も小さな音の範囲を表し、DRC 機能により、音量を下げた映像を再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにできます。

On：Dynamic Range Control 機能を有効にします。

Off：Dynamic Range Control 機能を無効にします。

自動：音声に応じて、Dynamic Range Control 機能を自動的に切り換えます。

### 3.2 スピーカーセッティング



#### 1. 構成

スピーカーの設定を、「Lt/Rt」、「ステレオ」から選択します。

#### 2. テストトーン

各チャンネルでテスト音声を出し、スピーカーの接続をテストします。

## 4. Fmt buda

ソフトウェアのバージョンや MAC アドレスなど、本機のシステムに関する情報が表示されます。



# 故障かな？と思ったときは

症状	原因と対応のしかた
電源が入らない	電源コードを交換するか、別のコンセントに差し込んでください。
映像が映らない	映像ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。 ケーブルが損傷している可能性があります。別のケーブルに交換してください。
音声がでない	音声ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。
電源は入るが、操作ができない	電源コードを抜いて 1 分待ち、もう一度接続してください。
リモコンで操作できない	電池の残量が少なくなっている可能性があります。新しい電池に交換してください。 リモコンが本機と離れすぎているか、正しくリモコン受光部に向けられていない可能性があります。
画像や音声の再生品質が悪い	ディスクがよごれている可能性があります。 掃除用の布でディスクを掃除してから再生してください。 外部コンポーネントからの映像信号にコピー禁止信号が入っている可能性があります。
BD ビデオで PIP (ピクチャー・イン・ピクチャー) が機能しない	ディスクが PIP 機能に対応しているか確認してください。
ネットワーク接続ができない	ディスクが合法的なものか確認してください。 ネットワーク接続の設定が正しいか確認してください。 ホームメニューの BUDA 設定が On board に設定されているか確認してください。External に設定されている場合は、最低 1GB の USB メモリーを挿入する必要があります。
ネットワークに接続したが、ファイルをダウンロードできない	ストレージの容量がいっぱいになっていないか確認してください。いっぱいの場合、ホームメニューで BD-Live ストレージをクリアし、本機を再起動してください。 ネットワーク接続の設定が正しいか確認してください。 USB デバイスを交換して、もう一度試してください。

# 主な仕様

## システムおよび出力

対応メディア	BD-ROM、Blu-ray Disc Java 1.1、DVD ビデオ、DVD+RW/+R、DVD-RW/-R、CD-RW/-R
VF 信号方式	NTSC/PAL
映像出力	出力レベル：1.0V(p-p)、抵抗：75 $\Omega$ 出力コネクタ：ピンジャック×1 系統
音声出力	出力レベル：2V(rms)、1kHz、0dB 出力コネクタ：ピンジャック コネクタ数：2 チャンネル、1 系統
音声出力 (デジタル音声)	同軸デジタル出力：ピンジャック
音声性能 (周波数特性)	DVD (リニア音声)：4Hz～22kHz (48kHz サンプル周波数) 4Hz～44kHz (96kHz サンプル周波数) 音楽用 CD：4Hz～20kHz、S/N 比：90dB ダイナミックレンジ：80dB 全高調波歪率：0.004%
HDMI 出力	出力フォーマット：480p/576p/1080i/720p/1080p 出力コネクタ：TypeA (19 ピン)

## 本体

電源	100～240V、50/60Hz
消費電力	17W
外形寸法	幅 240mm × 高さ 40mm × 奥行 280mm
質量	2.4kg
動作温度範囲	5℃～35℃
動作湿度範囲	10%～80%

### ご注意：

- 意匠・仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- ディスクの種類によっては、正常に再生できないことがあります。また、アングル変更や画面比調整などの特定の操作を実行した場合にも、正常に再生できないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。



その他

## ソフトウェアのライセンス情報

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

本製品は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。よろしくお願いいたします。

ホームページアドレス [www.toshiba.co.jp/regza/LZ1/eula](http://www.toshiba.co.jp/regza/LZ1/eula)

また、本製品のソフトウェアコンポーネントには、開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本製品は、製品として、弊社所定の保証をいたします。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、「as is」(現状)の状態、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけず、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的の適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本製品に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は第三者による規定であるため、原文(英文)を記載します。

本製品で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント 原文(英文)

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel	Exhibit A
DirectFB	Exhibit B

# その他 ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文 (英文)

## Exhibit A

### GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.  
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA  
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

#### Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

#### GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

#### NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED

# その他 ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文 (英文)

BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

## END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail. If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

## Exhibit B

**GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999**  
Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

### Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries.

In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

## GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law; that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange. If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License. However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables. When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law. If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.) Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.
6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications. You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:
  - a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
  - b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
  - c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
  - d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
  - e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
  - a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
  - b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License.

If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

#### NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

#### END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries  
If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

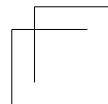
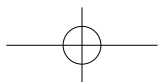
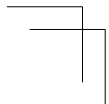
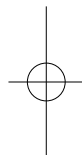
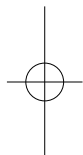
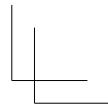
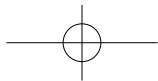
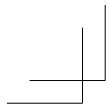
Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!





# 株式会社 **ユニテック**

## サービスセンター

電話 (03) 5387-1342

営業時間 9:00 ~ 12:00

13:00 ~ 17:00

土日、祝日および年末年始は、お休みとなります

